

第 5 1 3 回遊佐町議会定例会一般質問通告書

平成 2 8 年 6 月定例会

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
1	5 番 土門 勝子 (一問一答)	1. 大規模地震への対応は	<p>地震に対する防災対策は多種多様であるが今回は次の 2 点について伺う。</p> <p>1 点目 町の行政機関である現庁舎は今回起きた熊本地震の様な規模に対して大丈夫か。</p> <p>町民の安全・安心を取り入れた庁舎を今だから必要ではないのか。</p> <p>2 点目 自主防災組織の再認識・再点検と町民自らの地震に対する意識向上の啓発を行政指導のもと必要ではないのか。町の所見を伺う。</p>
2	3 番 菅原 和幸 (一問一答)	1. 不測の事態への対応について	<p>東日本大震災を教訓に、県が平成 2 4 年に独自に調査し作成した「県内沿岸部の津波浸水予測図」について、県津波浸水想定・被害想定検討委員会が、国の津波に関する推計を受け見直しを行った結果を、県が町内 2 会場で説明会を開催した。</p> <p>全体的に浸水範囲は狭まるものの、津波の最高水位は上昇するとの予測である。一方で鳥海山の噴火や庄内平野東縁断層帯などに起因する地震への備えも必要であるが、今回の見直しに関連し地域防災計画の見直しを行う考えは。</p>
		2. 冬季に町が行う除雪について	<p>本町の集落間の町道は、過去のほ場整備事業の道路法第 2 4 条工事等により一変した。</p> <p>しかし、住居に接する道路は旧来の状況が多く、町では除雪の対応ができないとのことで住民自ら行っている箇所もある。</p> <p>町が対応する除雪路線の選定方法並びに選定基準について。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
3	1 番 齋藤 武 (一問一答)	1. 町から議会への「説明」は足りているのか	若者定住町営住宅建設に関する議案では、町の議会に対する説明不足を多くの方々が指摘している。 一方、蕨岡小学校と遊佐小学校の統廃合に関して、その結末についての教育委員会から議会に対する説明は、机上配付の文書1枚であり、それ以上のものはなかった。 これらの件について、熟議に資する説明が絶対的に不足していると考え、町執行部はどうとらえているのか。
		2. 行政として熊本地震から何を学んだのか	阪神淡路大震災、東日本大震災などを経ての熊本地震では、自助・共助の大切さと共に、公助における事前対策（準備）の重要性が改めて浮き彫りになった。 町では熊本地震に何を学び、それをどう活かそうとしているのか。
4	1 1 番 齋藤弥志夫 (一問一答)	1. 空き家条例の制定と特定空き家	現在の空家数は820万戸で過去最高となり、全国の住宅の13.5%を占めており、空き家率はゆるやかながら一貫して上昇している。誰も管理していない土地や住宅が引き起こす問題は主に、放火による火災、老朽化による倒壊、犯罪の温床にもなる不法侵入、そして景観の悪化である。住民が安心して快適な環境で暮らすには、空き家条例を制定する必要があると考える。 倒壊の危険、著しく衛生上有害、著しく景観を損なっている、生活環境の保全の上で不適切であるなどが特定空き家であるが、こうならないためには空き家対策マニュアルなどを制作して住民に配付することも必要であろう。
5	2 番 松永 裕美 (一問一答)	1. 職員接遇対応レベルアップの効果的な研修について	全国に約1800ほどある自治体の生き残りをかけ現職員の力を発揮させるスキルアップ研修は過去3年間どのような取り組みをしていたのかお聞きしたい。近々の課題としてこの4月に新たに入庁した新人職員研修の現在のカリキュラムと今後の取り組みについて問う。
		2. 中央公園設営トイレのトイレトーパー紛失実態とその対応について	町民の憩いの場である中央公園設営トイレの備えつけトイレトーパー紛失が後を絶たないと聞いたが、その実態と対応策について問う。(今まで実行した策とその結果についてもあわせて伺いたい)

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
6	6 番 赤塚 英一 (一問一答)	1. 近隣自治体との広域連携の必要性は	酒田市を中心とした定住自立圏構想や、ジオパーク構想への連携など近隣自治体と連携した施策に取り組んできているが、共通課題に対する連携に積極的に取り組み、共通した政策に取り組む必要もあると思うが、町の考え方は。
7	9 番 高橋 冠治 (一問一答)	1. 友好都市豊島区との交流促進と経済的な結び付きの強化を	友好都市協定を結び12年となったが、文化交流や遊佐ノ市または各種イベント等の参加は多くなりつつも経済的な結び付きが弱い、今後の対応は
8	10 番 土門 治明 (一問一答)	1. 若者定住建設事業について	先の3月議会で、「議第45号 若者定住町営住宅建設事業用地の取得について」の議案が否決された。事業が遅れることを心配される町民が多くいることから、今後のスケジュールと否決による影響を伺う。現在、土地は仮契約になっているが、雑草等の管理と今後発生する補償等も伺う。
		2. 庁舎建設について	町では、基金を始めて近い将来に建設する想いを伺う。 又、社会福祉協議会の総合福祉センターも建設から38年経過し、当時の作りから、屋根が非常に重いとされている。両方とも改築する必要があると思うので伺う。
9	4 番 筒井 義昭 (一問一答)	1. 全国豊かな海づくり大会での遊佐町独自の取組みは	全国豊かな海づくり大会が9月10日～11日に酒田・鶴岡市を主会場に開催されるが、遊佐町でも放流事業や牡蠣祭り等が開催予定とのことである。 しかし、9月は牡蠣の禁漁期間であることを鑑みれば実効性に乏しいと考えられる。如何に事業を実施して行くつもりか伺う。
		2. 岩石採取地、公有地化の進捗状況は	町は岩石採取事業に対し、当該地の公有地化により開発行為の阻止を目指しているが、公有地化交渉の進捗状況を伺う。 また岩石採取事業に関する協定書が遵守されているかの調査をどれ位の頻度で実施されているのか、また調査結果は如何なる状況か伺う。